

2016年11月21日

お客様、ご利用者様ならびにご関係の皆様

東芝エレベータ株式会社

弊社製エレベーターのブレーキ不具合について（お詫びとご報告）

謹啓 弊社製エレベーター、エスカレーターをご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、2015年6月22日に発生しました弊社製エレベーターのブレーキの不具合事象について、本日（11月21日）国土交通省から調査報告書が公表されました。

本件に関しまして、お客様、ご利用者様ならびにご関係の皆様に、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

弊社では、不具合事象の発生を国土交通省に報告した上で、同省の指導に従い原因究明を行ない、調査結果を国土交通省に報告してまいりました。

不具合事象および対策等の内容は下記のとおりであり、対象となる一部の弊社製エレベーターにつきましても、既に万一のブレーキ異常を事前に検出してエレベーターを安全に停止する対策を講じておりますことをご報告致します。また、更なる安全性の向上対策につきましても、準備が整い次第、実施してまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今後とも、より一層エレベーターを安全・安心・快適にご利用いただくため、技術と品質の維持・向上に注力してまいりますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. エレベーターの不具合概要

2015年6月22日、ご利用者2名が18階で弊社製エレベーターから降りた後、無人となったかごが戸開した状態で徐々に上昇し、約20cmを超えたところで乗り場の戸が閉じました。約7分間運転を継続した後、最上階となる25階の床面から45cm上の位置で停止しました。

2. 原因について

弊社ならびにブレーキメーカーで調査した結果、ブレーキパッドの過熱および異常摩耗が発生し、ブレーキ保持力（ブレーキが閉じた状態でエレベーターを動かないように保持する力）が低下したことにより、つり合いおもりに無人のかごが引き上げられ、徐々に上昇したと判断いたしました。

3. 対象となる製品

1996年以降製造・販売された機械室のある乗用エレベーターの一部となり、1890台が稼働しています。

4. 現在までの対応

対象となるエレベーターにつきましては、ブレーキ臨時点検および定期点検での摩耗粉状態の確認を行い、ブレーキパッドの異常摩耗の発生がないことを確認いたしました。これに加えて、ブレーキスイッチが設置されているものを除く全てのエレベーターにつきまして、ブレーキの引き摺りによる異常発熱を検知する装置として温度センサーをブレーキに設置し、万が一のブレーキ異常発生時に発生する熱を検知することで摩耗が促進する前にエレベーターを停止するように設定しておりますので、安心してご利用いただくことができます。

5. 今後の対応について

詳細調査を進めた結果、ブレーキディスクの材質が異常摩耗の一因であることが判明しましたので、対策品（材質改良品）を採用したブレーキに交換をさせていただき、さらに定期点検での摩耗状態の確認を強化していきます。

対象となるエレベーターをお使いのお客様には、それぞれ弊社の担当部門より交換等についてのご連絡を差し上げますので、ご理解・ご協力の程、よろしく申し上げます。

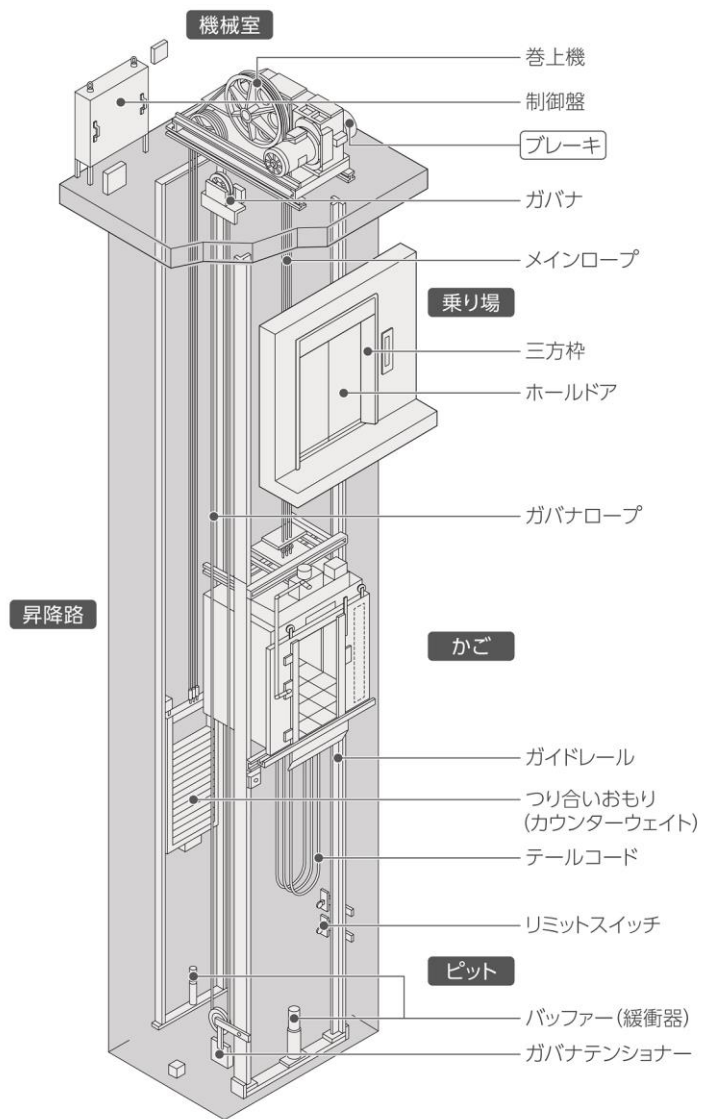
以 上

<お問い合わせ先>

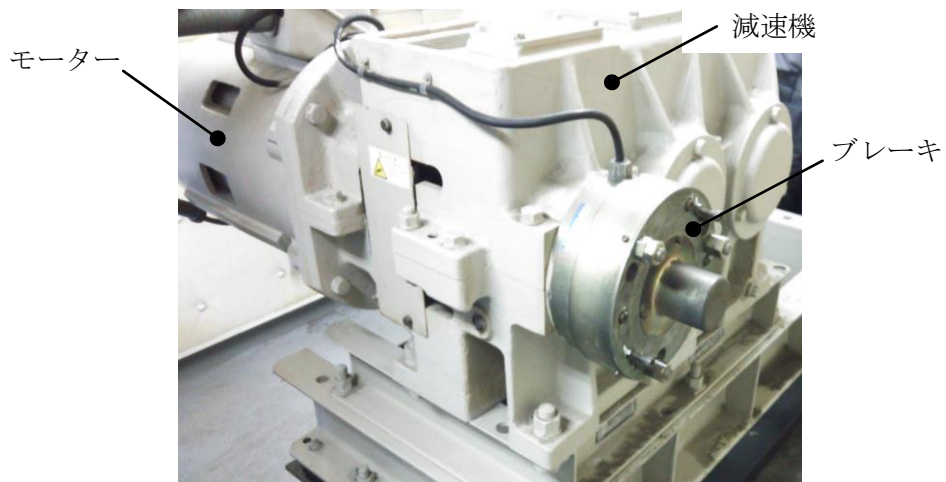
東芝エレベータ株式会社 広報室

電話番号 044-331-7001

巻上機・ブレーキ参考図



エレベーターの構造



巻上機写真 (ブレーキ側)